

社会保障研究 第7巻第3号 (2022年) 目次

巻頭言

オンゴーイングの災禍と学術研究 酒井 正 182

特集：新型コロナウイルス感染症と社会保障

COVID-19パンデミックに日本はどう対応してきたか？

—医療提供体制と人々の行動— 増原 宏明・細谷 圭 184

新型コロナ感染症と介護 菅原 慎矢 199

コロナ禍とシーセッション：2020-2022 周 燕飛 210

ポストコロナに向けた子どもたちの学校生活の現状

—2022年6月の学校生活調査の結果と予備的解析— 高久 玲音・王 明耀 224

新型コロナウイルスの蔓延下でのメンタルヘルスの変化：

これまでの知見と将来への含意 山村 英司 236

雇用保険と生活保護の狭間の所得保障ニーズへの政策的対応：

コロナ禍の住居確保給付金・特例貸付と三層のセーフティネット
安藤 道人, 古市 将人, 大西 連 246

新型コロナウイルス感染症パンデミックと公的医療保険財政 鈴木 倫哉・湯田 道生 262

動向

令和2（2020）年度 社会保障費用統計—概要と解説—

国立社会保障・人口問題研究所 社会保障費用統計プロジェクト 279

情報

香港における新型コロナの現状—第5波の衝撃と規制緩和への転換— 澤田 ゆかり 291

書評

広瀬巖 著『パンデミックの倫理学』（勁草書房，2021年） 山村 英司 295

新刊紹介

ハワード・スティーヴン・フリードマン 著 南沢篤花 訳

『命に<価格>をつけられるのか』（慶応義塾大学出版会，2021年） 盖 若琰 299